

佐賀市大和町尼寺 グリコ北

処方せんは
どこの処方せんでも受付ます。

カキ(柿)



柿茶

柿の葉は渋柿でも甘柿でもよく、六月から十月頃までに採取する。この頃の葉にはビタミンCがいちばん多く含まれている。採取の時間は早朝や夕方、正午前後の気温がよい。採取した葉は天気のよい日は二日間、曇りや雨の日は三日間陰干しにして、3ミリ位に細切りにしておく。釜に湯をわかし、その上にせいろをのせて湯気でよくあたため、一度これをおろし、準備した柿の葉を3センチほどの厚さになるよう手早く入れ、一分半ほど蒸したら、フタをとり、うちわで手早く30秒間あおぎ、葉にたまった水滴を蒸発させ、またフタをして二分半蒸す。蒸した葉は、手早く広げ、日光にあてず陰干しにする。せいろから出した葉はなるべく早く乾燥させることが大事です。ビタミンCが水滴に溶けてしまうからです。風通しのよいところでよく乾燥させてからカキンに保存する。柿茶を入れるには、陶製のきょうすい入れ、これに熱湯を注ぎ、十分か十五分たつ

てからついで飲む。二度目か三度目がいちばん濃く出る。翌朝まで飲む。青越しの番茶は毒であるが柿茶はさしつかえない。液汁が色を失わないかぎり、くり返し飲んでもよい。煮沸するとビタミンCが破壊するので禁ずること。柿茶を飲んだあと四十分間はコーヒー、紅茶、緑茶、番茶は飲まない方がよい。ビタミンCが無効になる。

効能

シャククリ カキの葉はシャククリの特効薬。奇妙にビツタリ止まる。柿帯20枚位にコップ3杯の水を加え、弱火で半量になるまで煮つめ、これを30分から一時間位の間かくでシャククリが止まるまで少しづつ分けて飲む。この場合特に渋ガキの葉が効果的。シャククリによく悩まされる人は、カキを食べたあと、ヘタに針で糸を通して軒先につるしておくといふ。

中風 柿渋小さじ2杯を茶わんに入れて番茶でうすめて飲む。又、便秘を予防する為には同量のダイコンおろしを混ぜて飲む。

遺尿・夜尿症 柿帯10g一週間位煎じて飲む。又、ギンナン一日7個を焼いて服用してもよい。

やけど 柿渋をガーゼにしみせて患部にあて、包帯をする。ガーゼがかわいたらとりかえる。

しもやけ、かぶれ、ハチ刺され 柿渋をうすめて塗布する。又柿帯の煎じ汁で患部を洗ってもよい。

出血 痔の出血には実を黒焼きとして一回2gを湯で飲む。吐血には種子又は干し柿を黒焼きにしたものを2gを水で飲む。血便、血尿には干し柿一個、ヨモギの葉を乾燥したものを4gを加えて煎じて飲む。眼底出血には生の葉五、六枚を葉の中央にある筋をはぶいてこまかくきざみ煎じて一回に飲む。生の葉がなければ柿茶を飲んでよい。外傷の出血には柿渋をすりつける。

酒の悪酔い なるべく甘く熟したものを食べる。生の柿がない場合は干し柿を食べてもよいし、柿の帯10gを煎じて服用してもよい。

かぜ 干し柿一個、干しシタケ一個、いり玄米カップ半分、ヒネシヨウガ少々をカップ三杯の水で弱火にかけ半量になるまで煎じて、これを一日三回位に分けて飲む。

養生会葉局 (鍵山)

動脈をじょうぶにする民間療法

松葉酒—脳卒中の予防

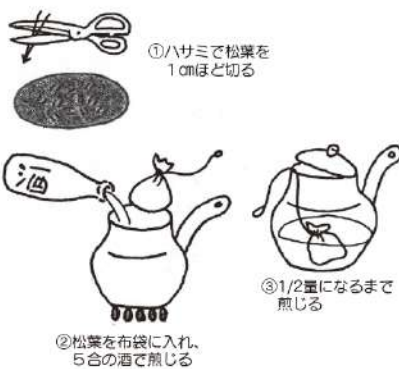
長寿のシンボルである松。その松葉は昔から中風や卒中の予防薬としてよく用いられた。

薬用となるのはアカマツの若葉で、40本くらいを水洗いし、生のままよくかんで汁を飲み、カスは出します。

民間薬として有名なのは、松葉酒。卒中の予防以外に常飲すれば、冷え症、不眠症、食欲不振にも効きます。

【用法】 松葉20gを1cmに刻み、布袋に入れます。これを5合(900cc)のお酒に入れて火にかけ、1/2量になるまで煎じます。これを毎食後杯に1杯ずつ飲みます。

〈松葉酒の作り方〉



知っていますか?

おばあちゃんの知恵

昔から、柿を食べる痢を起すようになり「からだか冷える」と「流産する」など言います。下痢を起すと、からだは冷える伝えられております。柿は、おじょうご、九カ月のころには、おすきまずと、柿の中へすきに注意しましょう。

薬剤師 高木 丈夫



こどもの病気シリーズ

急性中耳炎

中耳腔にウイルスや細菌が入って突然炎症をおこす状態を急性中耳炎といいます。炎症をおこすと中耳腔と鼻の後部を結んでいる耳管が腫れて、つまりてしまいます。細菌感染が原因である場合は膿が中耳腔にたまりまう。この病気は、かぜなどの鼻やのどの感染症のあとによくおこりますが、これはウイルスや細菌が耳管を通って中耳腔に入るからです。ときには破れた鼓膜からウイルスや細菌が中耳に入って感染をおこすこともあります。

鼓膜に小さな穴をあけることもある

治療 点耳用あるいはスプレー用の血管収縮剤が処方されることがありますが、これは耳管のつまりをとるのを助け、中耳にたまった膿が鼻やのどに落ちるようにするだけです。

耳を刺すような痛みがある

症状 ふつうは、耳のつまった感じとともに刺すような痛みがあり、眠れないこともあります。そのほか、熱が出たり、炎症をおこしたほうの耳が聞こえにくくなったりします。感染が細菌によるものである場合、治療しないでおくと、中耳腔にたまった膿の圧力で、鼓膜が破れ、痛みは急になくなりますが、それと同時に耳から膿が出てきます。子どもは非常に急性中耳炎にかかりやすく、かぜなどにかかると、ときには半数以上に中耳の感染がみられます。

また、一定の期間、抗生剤が処方されることがありますが、これは、細菌性の感染を治療するためです。ウイルスによる感染の場合は、二次的に細菌感染にかかるのを予防するために、抗生剤が使われます。

鼓膜がふくらんでいるときは、鼓膜に小さな穴をあけて膿の圧力をやわらげ、痛みをとることがあります。小切開をうけた鼓膜は一、二週間ですぐに自然にもどる聴力も正常に戻ります。

養生会葉局 薬剤部



漢方と調剤

健康に感謝

ヤマト薬局

江北店

☎86-2973

杵島郡江北町 ジャスコ前

処方せんは
どこの処方せんでも受付ます。